

献辞

小倉先生は、1992年より本学法学部で経済法なканずく独禁法の専門家として、教育研究にあたられてきましたが、2006年11月逝去されました。2007年開設なったポートアイランド新キャンパスを目にすることなく旅立たれたことは返す返すも残念でなりません。

先生は、長い間公正取引委員会に勤務されてきました。そういう経験に基づいた講義は迫力あるもので、学生の勉学意欲をすこぶる高めました。経済法や独禁法への関心を掻き立てられ、卒業後その方面へ就職した学生も少なくなかったことはいうまでもありません。

その朴訥としたお人柄は私たち一同を魅了し、学部運営を和やかにし、学部のよき伝統をとともに育んでくれました。今しばらく、その人徳で仁義ある学部運営へ導いてくれていたらと、悔やまれてなりません。

1年ほど前から体調をくずされましたが、最後まで学生の教育に努力を惜しむことはありませんでした。介助の方に支えられて教室へ通う先生の教育に対する熱意と責任感はわれわれの胸を深く打つものがあり、私たちを教育の原点へと引き戻してくれました。

小倉先生の法学部への多大なる貢献に感謝し、そのご活躍を偲びつつ、ご霊前に本追悼号を捧げるしだいです。

2008年9月

法学部長 氏家伸一